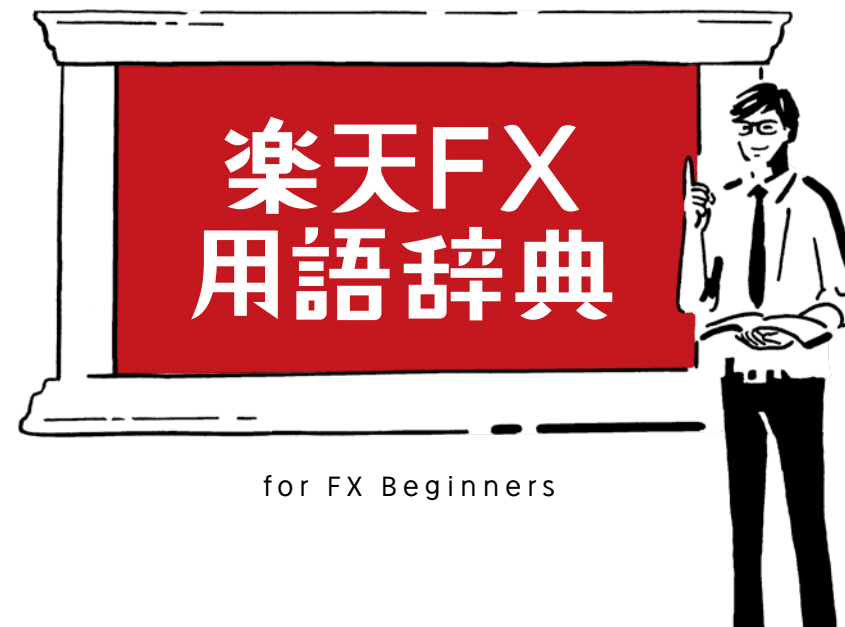


Rakuten 楽天証券



Rakuten 楽天証券

第1章

FX 上達のための 必須キーワード!



FXの取引に関する重要キーワードを解説します。「なんとなく聞いたことがある」、「詳しい意味は知らないけれどなんとなく使っている」から脱却して、FX取引の上達を目指しましょう!

01 | FX (Foreign Exchange)

FXとは、2つの異なる国の通貨を買ったり売ったりしながら利益を出す取引のこと。正式名称は「外国為替証拠金取引」。例えば、1ドル=100円で購入し、120円のとときに売れば20円分の利益が出ます。

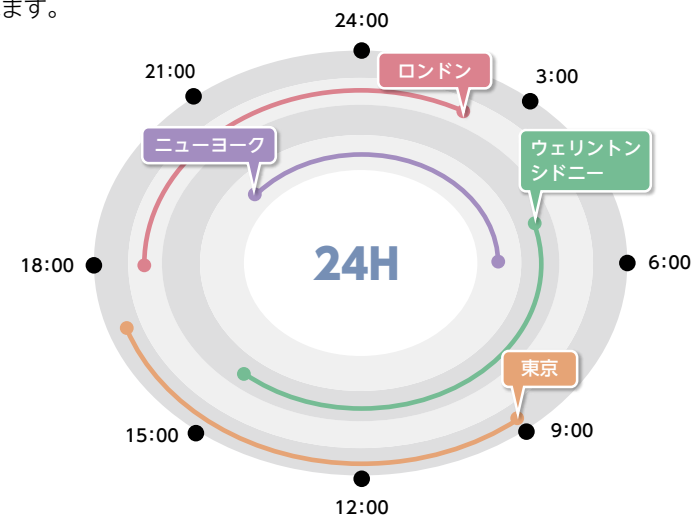
また、売りからも取引ができるのがFXの特徴です。

FXとは 「2つの異なる国の通貨を売買し、その差益を狙う取引」です。



02 | 外国為替市場

日本円や米ドルなど異なった通貨を売買し、資金を調達する市場のこと。インターバンク市場とも呼ばれます。証券取引所のような公施設があるわけではなく、金融機関など限られた参加者が、インターネットや電話などを利用して通貨の売買取引を行っています。主要な市場は、ロンドン・ニューヨーク・東京があげられます。



各市場の取引時間

ウェリントン シドニー 5時~15時	東京 9時~17時 (10時:仲値)	ロンドン 18時~2時 (1時:ロンドンフィクシング)	ニューヨーク 21時~6時
-----------------------	-----------------------	--------------------------------	------------------

※上記の時間は目安です。標準時間(冬時間)を元に作成しています。夏時間の場合は1時間早くなります。

ワンポイント

国内株式市場の取引時間は15時までですが、外国為替市場では土日を除いて24時間休みなく取引が行われています。
FXの取引日は日本時間の7時~翌朝7時(夏時間は6時)の24時間を一日として区切られています。

03 | ニューヨーク(NY)・クローズ

ニューヨーク市場が終わる、米国時間17時(日本時間の7時、夏時間は6時)で、外国為替市場の1日の終わりのこと。ほぼ24時間動いている外国為替市場の区切りとしても用いられます。

04 | あいたいとりのひき 相対取引

取引所を介さずに売り手と買い手が直接取引すること。取引価格は双方の合意によって決定します。FXも業者が価格を提示し、顧客が数量を指定して注文する相対取引です。

05 | 通貨ペア

FX取引で交換する通貨と通貨の組み合わせのこと。代表的なものには、ドル円、ユーロドルなどがあり、楽天証券では26通貨ペアに対応しています。
(2020年1月11日時点)

06 | 通貨の表示

外国為替市場では、通貨をアルファベット3文字で表示します。例えば米ドルであればUSD、日本円はJPY、ユーロはEURなどです。

主な通貨の表示例

通貨	表示
 米ドル	USD
 ユーロ	EUR
 日本円	JPY
 ポンド	GBP
 オーストラリアドル(豪ドル)	AUD
 カナダドル	CAD
 スイスフラン	CHF
 ニュージーランドドル(NZドル)	NZD
 南アフリカランド	ZAR
 トルコリラ	TRY
 中国人民幣	CNH

07 | 為替レート 【2way プライス、ビッド(Bid) / アスク(Ask)】

為替レートとは、通貨を交換するときの、他国の通貨との交換比率のこと。ニュースなどで「1ドル=100円」のように報道された場合は、「1ドルは100円と交換できる」という意味です。

2way価格は、FX取引で価格を提示する際に、売値と買値の2つを同時に表示すること。

ビッド(Bid)とは価格を提示する側(楽天証券)の売値で、提示された方はその価格で売り注文をすることができます。

アスク(Ask)は価格を提示する側(楽天証券)の買値で、提示された側はその価格で買い注文をすることができます。



08 | 円安 / 円高

円安とは、他国の通貨に対して、日本円の価値が下がること。例えば、1ドル=100円から、1ドル=110円になることを指します。

円高とは、他国の通貨に対して、日本円の価値が上がること。例えば、1ドル=100円から、1ドル=90円になることを指します。

09 | メジャー通貨 / マイナー通貨

メジャー通貨とは、外国為替市場で取引量が多く、流動性が高い通貨のこと。米ドル、ユーロ、日本円、ポンド、オーストラリアドル、カナダドル、スイスフランなどがメジャー通貨と呼ばれています。

マイナー通貨とは、外国為替市場で取引量が少なく、流動性が低い通貨のこと。代表的なものには南アフリカランドやトルコリラなどがあげられます。

10 | 安全通貨

安全通貨とは、世界規模で金融や経済が混乱するリスクが高まった時に買われやすい通貨のこと。

日本円やスイスフラン、米ドルやユーロが安全通貨とされています。

11 | 欧州通貨

ヨーロッパで使用されている通貨のこと。ユーロやスイスフラン、ポンドのようなメジャー通貨の他、デンマーク・クローネ、スウェーデン・クローネ、ノルウェー・クローネのようなマイナー通貨も含まれます。

12 | オセアニア通貨

オセアニアで使用されている通貨のこと。オーストラリアドル、ニュージーランドドルがオセアニア通貨と呼ばれ、比較的高金利であることが特徴です。

13 | 資源国通貨

エネルギーや鉱物などの資源を主な輸出品としている国の通貨のこと。メジャー通貨ではオーストラリアドルやカナダドルが資源国通貨にあたります。南アフリカランドやノルウェー・クローネといったマイナー通貨も資源を主な輸出品としているため、これに該当します。

14 | 新興国通貨(エマージング通貨)

将来的には経済大国になることが予想される新興国諸国(エマージング諸国)の通貨のこと。トルコリラやメキシコペソ、南アフリカランドなどがそれにあたります。政策金利が高めの傾向があるため、リスクオン局面では買われやすく、リスクオフ局面では売られやすい特徴があります。

15 | 変動相場制／固定相場制

変動相場制とは、為替相場の決定を市場に任せ、需要と供給により変動させる方法で、メジャー通貨の多くがこの制度を採用しています。

固定相場制とは、為替相場を一定の範囲に固定する制度のこと。為替レートの変動により経済が不安定になる可能性のある新興国などの経済基盤の弱い国で採用されます。

16 | ドルペッグ制

経済基盤の弱い国で採用される、国の通貨レートを米ドルに連動させる制度のこと。主に固定相場制の国で用いられることが多く、国の経済の安定のためにこの制度を採用する国もあります。

17 | 通貨切り下げ

固定相場制を採用している国が、自国通貨が安くなるように為替レートを変更すること。これを行うと輸出品が安くなり、輸出競争力が高まるメリットがある反面、輸入品の価格が上がるといったデメリットもあります。

18 | ^{なかね}仲値

銀行の窓口などで用いられる、その日の基準となるレートのこと。金融機関は朝9時55分の為替レートを参考にこの仲値を決定します。仲値が決定する時間の前後はFXの取引が活発になりやすく、相場が大きく動くこともあります。

19 | ロンドン・フィキシング

ロンドン時間の仲値の時間帯のこと。ロンドン時間の16時(夏時間の場合は15時)で、日本時間の1時(夏時間の場合は24時)にあたります。この時間帯は相場の動きが活発になりやすく、大口投資家の取引が出てくる時間のため、マーケットの方向性が変わることが多くあります。

20 | オプションのカットオフタイム

通貨オプションにおける、権利行使の最終締切時間のこと。通貨オプションの満期日は対象となる日時と市場が決められています。東京市場の午後3時、ニューヨーク市場では日本時間の24時(夏時間は23時)にあたり、この時間はポジション調整のための取引が活発化し、相場が大きく動くことがあります。

第2章

これを知ればぐっとFXが 深まる! 取引用語



FXでトレードする際に、よく出てくる・使われる取引用語について解説します。

21 | スプレッド

スプレッドとは、売値(Bid)と買値(Ask)の価格の差のこと。FX取引において、日本国内では数多くの会社が取引手数料無料であるため、このスプレッドは日本のFX業者における手数料のようなものです。ドル円が、売値110.000円、買値110.002円の場合、スプレッドは0.002円(0.2銭)になります。

例:スプレッドが0.2銭で、1万(取引数量)のドル円を取引する場合、取引コストは:1万×0.2銭=2,000銭=20円(取引コスト)

かんたんに言うと…
スプレッドが狭ければ狭いほど、取引コストが低い!

22 | レバレッジ

レバレッジとは「てこの原理」のこと。FXでは少額の資金で大きな取引を行うことを指します。FXは最大25倍で取引ができるので、その分高い利益を得られる可能性があります。反対に大きな損失となることもあるため注意が必要です。



23 | 差金決済

差金決済とは、取引の際に必要なお金の全額を用意せずに買った時と売った時の値段の差額だけを受け取る、または支払う取引のこと。例えば、差金決済で1万ドルを100円で買って101円で売る場合、実際の100万円を用意する必要はなく、差額の1万円のみをやりとり（この場合は利益）になります。

24 | 建玉(ポジション)

FXの取引において、約定済の新規注文で未決済の取引または取引数量のこと。建玉のことを「ポジション」とも言います。買い注文のときは「買い建玉」、売り注文のときは「売り建玉」と呼びます。

25 | 証拠金取引

担保として一定額の証拠金を預け入れ、取引によって生じた損益(差額)を証拠金で調整する取引のこと。FXもこの証拠金取引の一種で、正式名称は「外国為替証拠金取引」です。

26 | 必要証拠金

FXで取引を行う際に、最低限必要となる預託金のこと。FXでは少額の証拠金をもとに、レバレッジをかけることで、実際の資金(証拠金)より大きな金額で運用を行うことが可能です。

かんたんに言うと…

FX取引に必要な原資のこと

27 | 有効証拠金

有効証拠金とは、FX業者に預け入れている証拠金に、現在持っている建玉の未実現の損益を加えた額の証拠金のこと。保有建玉が損を抱えていると有効証拠金は小さくなり、反対に利益を出していると有効証拠金は大きくなります。

かんたんに言うと…

取引に使える資金のこと

28 | 追加証拠金

一定水準以上の損失が膨らんだときに、保有建玉を維持するために追加で証拠金を入金すること。期限までに入金しないと建玉が全て決済されます。一般的に追証(おいしょう)と呼ばれます。

かんたんに言うと…

証拠金維持率が100%を下回ったときに差し入れなければならないお金のこと

29 | ロスカット

必要証拠金の一定額を割り込むほど、建玉の損が膨らんでしまった場合に、強制的に反対売買(決済)が行われること。例えば、ロスカット水準が50%の場合、証拠金維持率が50%を下回ったら、お客様の建玉がすべて決済されます。
(証拠金維持率=純資産評価額÷必要証拠金)

ワンポイント

ロスカットされないように、証拠金維持率を常に気にしましょう

30 | ロング/ショート

買い建玉を保有すること・買ったまま持ち続けていることをロングと呼び、売り建玉を保有すること・売ったまま持ち続けていることをショートと呼びます。

31 | エントリー/クローズ

FXでは、新規取引を開始することをエントリー(=建玉を持つ)と呼び、持っている建玉を決済することをクローズと呼びます。「仕掛ける」「手仕舞う」ということもあります。

32 | やくじょう 約定

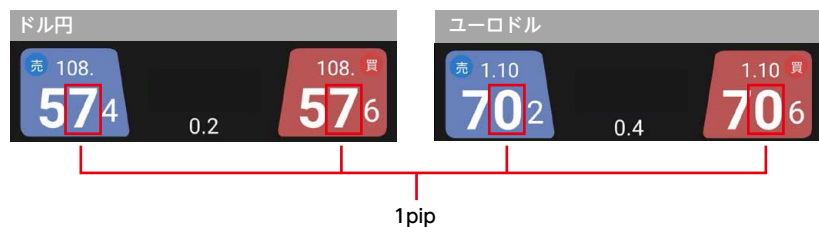
FXの取引が成立すること。

33 | ティック

為替レートの一回一回の値動き、または価格変化の最小単位のこと。値動きが多い場面ではティックが多く配信されます。ティックの値動きを表示したチャートのことを「ティックチャート」と呼びます。

34 | ピップス(Pips)

FXの値幅の最小単位のこと。円が関係しない通貨ペア(ユーロドルやポンドドル等)の際にスプレッドの単位で使われることがあります。1pip=1銭です。
なお、ドル円やクロス円等の通貨ペアの場合、0.01 が1pip、その他の通貨ペアは概ね0.0001 が1pipとなります。



35 | スワップポイント

取引している通貨ペア間で発生する、金利差の調整分のこと。FXでは、高い金利の通貨を買い、低い金利の通貨を売れば差引で金利を受け取ることができ、逆の場合は金利を支払うことになります。



10,000 通貨あたり	スワップ	
	買い	売り
ドル円	70	-96

上記のスワップポイント表の場合、ドル円を10,000 通貨買って翌日に持ち越すと、70 円のスワップを受け取ることができます。
ドル円を10,000 通貨売って翌日に持ち越すと、96 円のスワップを払う必要があります。

36 | ロールオーバー

ロールオーバーとは、建玉の決済日を先延ばしすること。FXは本来2営業日後に決済をしなくてはならないルールがありますが、このロールオーバーにより、自分で決済しない限り、決済日を自動で延長できます。

例)

取引日	建玉 (From-To)	ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円
2019/10/1 (火)	2019/10/2 (水)	1	1	1
2019/10/2 (水)	2019/10/3 (木)	3	3	3
2019/10/3 (木)	2019/10/4 (金)	1	1	1
2019/10/4 (金)	2019/10/7 (月)	1	1	1
2019/10/7 (月)	2019/10/8 (火)	1	1	1
2019/10/8 (火)	2019/10/9 (水)	1	1	1
2019/10/9 (水)	2019/10/10 (木)	4	4	4
2019/10/10 (木)	2019/10/11 (金)	1	1	1

2019年10月2日(水)の建玉を、10月3日(木)に持ち越すと、3倍のスワップポイントが付与されます。

楽天証券のスワップカレンダーで付与日数分をご確認いただけます。

<https://www.rakuten-sec.co.jp/web/fx/charm/commission.html>

💡 ワンポイント

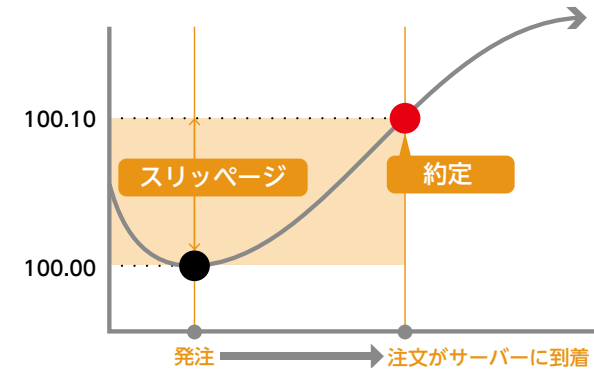
ポジションを持ったまま水曜のニューヨーククローズ(日本時間木曜午前7時、夏時間は午前6時)をまたぐと3日分のスワップポイントが付与されます。

※通常は一日付与されますが、取引日が水曜日の場合、決済日は土日をまたぐため、付与日数は3日となります。

また、祝日などにより付与日数は異なる場合もあります。

37 | スリッページ

注文したレートと、実際に約定したレートに誤差が発生すること。相場が急落・急騰するような激しく動く場面で発生しやすいという特徴があります。また、スリッページは有利な場合と不利な場合があります。



💡 かんたんに言うと…

発注からサーバー到着までのわずかな時間で動いたレートの差のこと

38 | 利食い、テイクプロフィット

建玉に利益が出ているとき、建玉を反対売買(決済)して、利益を確定すること。テイクプロフィットともいいます。

39 | 損切り、ストップロス

損失が発生している建玉を決済し、損失を確定させること。ストップロスともいいます。

40 | スクエアにする

建玉がない状態のこと。保有している建玉をすべて決済することです。スクエアにするとノーポジションにするは同義語となります。

41 | 未実現損益 (含み益、含み損)

決済していない取引を現在のレートで損益評価したときの金額のこと。まだ損益が確定(実現)していないため、未実現と呼ばれます。利益・損失共に、決済を行った時点で確定となります。

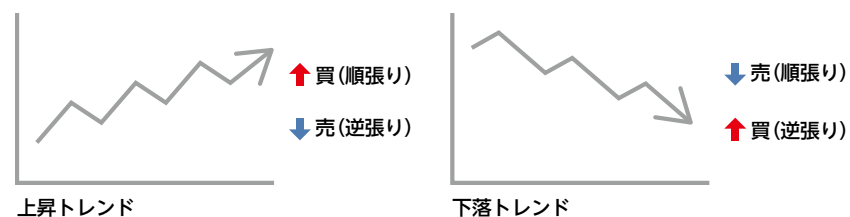
42 | 両建て

買い建玉と売り建玉を同じ量で同時に保有すること。相場変動による利益や損失は発生しませんが、スプレッドの差額と、建玉を保有した日数分の買いスワップと売りスワップの差額分がマイナスとなります。

※両建ては経済的合理性を欠く取引であるため、楽天証券ではお薦めいたしません。

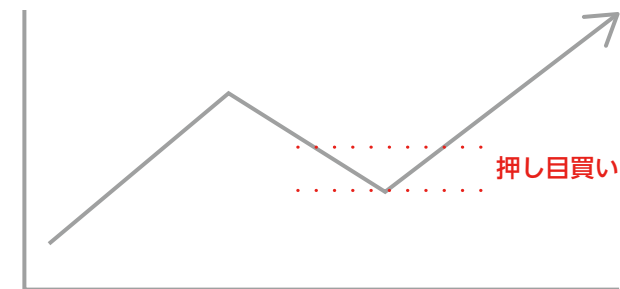
43 | 順張り / 逆張り

順張りは、通貨ペアの値動きのトレンド方向に沿ってトレードする手法のこと。上昇トレンドの場合は買い、下降トレンドの場合は売り建玉を建てます。逆張りは、相場の反転を狙って、トレンドに逆行する建玉を持つ手法です。相場が過熱し、いったん天井あるいは底をつけるタイミングをとらえれば大きな利益が期待できますが、上級者向けの手法といえます。



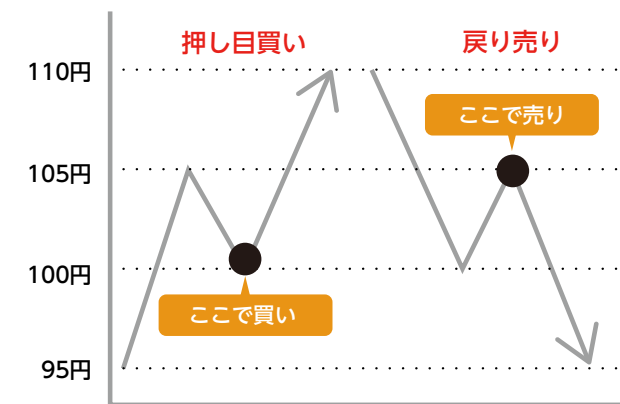
44 | 押し目買い

相場が上昇トレンドに入っている際、一時的に調整(反落)したタイミングで買い建玉を持つこと。押し目買いにより、高値掴みを避けて、有利な価格で取引することが可能です。



45 | 戻り売り

相場が下降トレンドに入っている際、一時的に調整(反発)したタイミングで売り建玉を持つこと。押し目買い同様、有利な価格で取引が可能です。



46 | ^{なりゆき} 成行注文、ストリーミング

成行注文とは、現在提示されている価格で売買する注文方法のこと。ストリーミング注文とも呼ばれます。

47 | ASストリーミング注文

ASストリーミング注文とは、発注時に新規・決済の指定がなく、自動的に選択される注文方法のこと。ASストリーミングの“AS”とは、「Auto Select」の略称であり、新規決済の別と、決済の場合の対象建玉の選択をシステムが自動で判別します。楽天証券ではASストリーミング注文を利用した取引が可能です。

48 | ^{さしね} 指値注文 (リミット・オーダー)

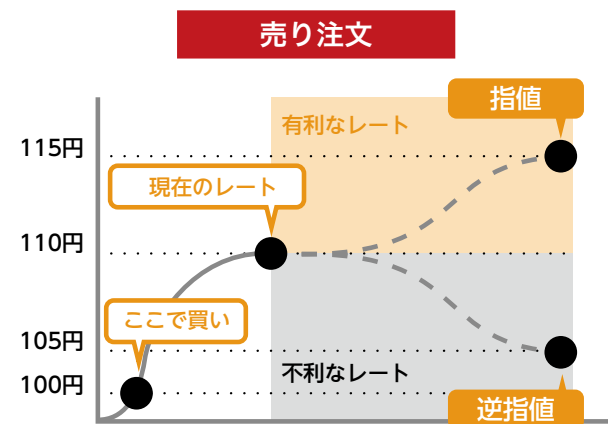
指値注文(リミット・オーダー)とは、予め希望した価格と数量を指定して行う注文のこと。通常、現在のレートよりも有利な価格を指定して注文を出します。現在レートが100円の時、101円になったら売る、もしくは99円になったら買う、といった注文が指値注文にあたります。

ワンポイント

今よりもっと安いときに買いたい、もっと高いときに売りたい!と思った時に活用しましょう

49 | ^{ぎゃくさしね} 逆指値注文 (ストップ・オーダー)

逆指値注文(ストップ・オーダー)とは、現在の価格よりも高い価格での買い注文・安い価格での売り注文のこと。通常、現在のレートよりも不利な価格を指定しての注文となります。



ワンポイント

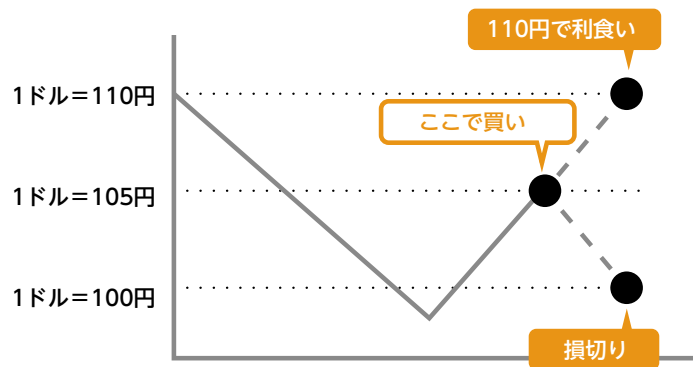
今よりもっと安いときに売りたい、もっと高いときに買いたい!と思った時に活用しましょう

50 | ^{りぐい} 利食い注文 (テイクプロフィット・オーダー)

利益確定注文(テイクプロフィット・オーダー)とは、建玉に対して有利な方向に相場が動いた際に、反対売買を行う注文方法のこと。買い注文の場合はより高い価格で売りを、売り注文の場合はより安い価格で買いを指定します。

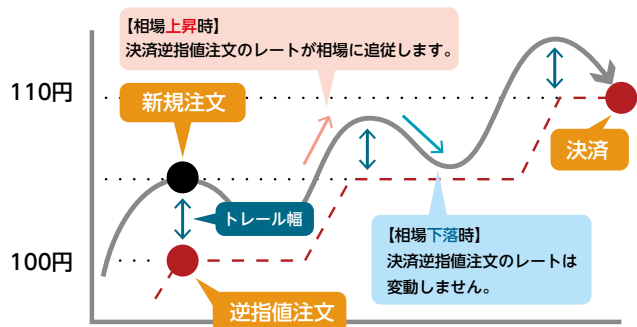
51 | ^{そんぎ}損切り注文 (ストップロス・オーダー)

損切り注文とは、想定とは反対に相場が動いたときにすでに保有している建玉の損失を確定させるための決済注文方法のこと。通常、損失を最小限に抑え、リスクをコントロールするためにこの注文を使います。



52 | トレール注文

トレール注文とは、ある一定の値幅で逆指値注文が相場に追従する注文方法のこと。保有建玉に対し、相場が有利に動いた場合、追従している逆指値注文も値段が切り替わります。逆指値の価格は不利な相場の方向へは動かず、万が一相場が逆指値の水準を割り込んだ場合、そこで決済注文が成立します。

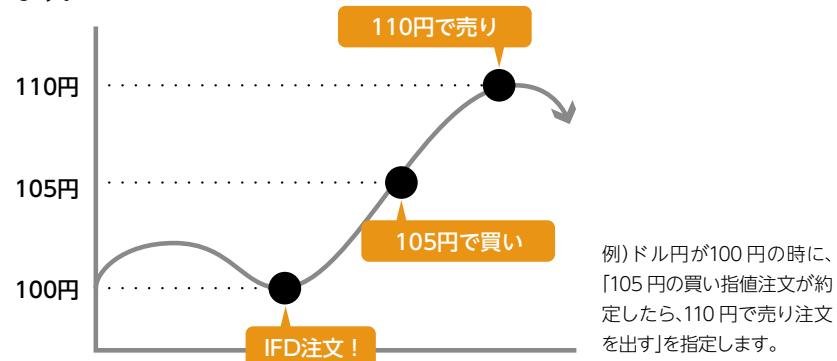


かんたんに言うと…
おいかげ注文のこと

現在レート ———
決算逆指値レート - - -

53 | IFD(イフダン)注文

IFD(イフダン)注文とは、新規の注文と、その注文に対する決済注文を同時に出せる注文方法のこと。現在の価格からの注文は指値・逆指値、その注文に対する決済は利益確定・損切り、それぞれの注文が出せるため、相場に合わせて使いわけられます。



例)ドル円が100円の時に、「105円の買い指値注文が約定したら、110円で売り注文を出す」を指定します。

かんたんに言うと…

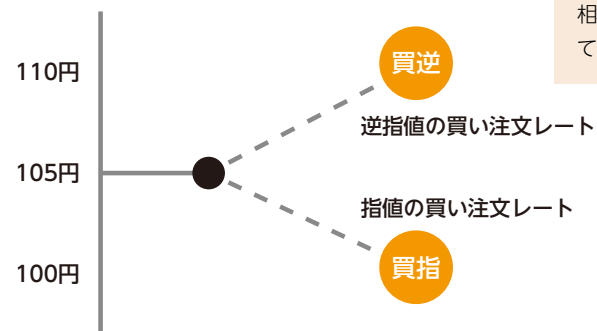
Aの価格で新規約定できたら、Bの価格で決済することを指定する注文のこと

54 | OCO(オーシーオー)注文

OCO(one cancel other)注文とは、2種類の注文を一度に出し、どちらかの注文が約定した場合はもう一方が自動的にキャンセルされる注文方法のこと。すでに保有している建玉でもOCO注文を使うことができます。

かんたんに言うと…

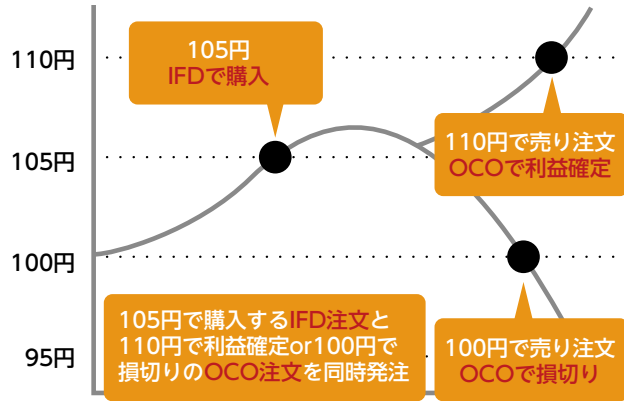
相場の上下に関わらず対応してくれるよくばり注文のこと



買逆 買指 のいずれかが約定すると、残りの注文はキャンセルされる

55 | IFO(アイエフオー)注文

IFO(アイエフオー)注文とは、IFD注文とOCO注文をあわせた注文方法のこと。新規注文の指値・逆指値と、決済注文の利益確定・損切りの注文を一括で出せるため、利益や損失の範囲を管理しやすくなるメリットがあります。

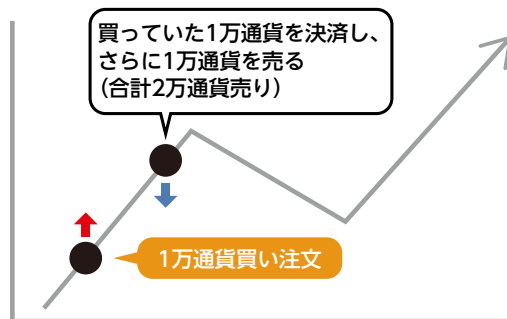


💡 かんたんに言うと…

もしAの価格で新規約定ができたなら、B若しくはCの価格で決済することを指定する注文のこと。

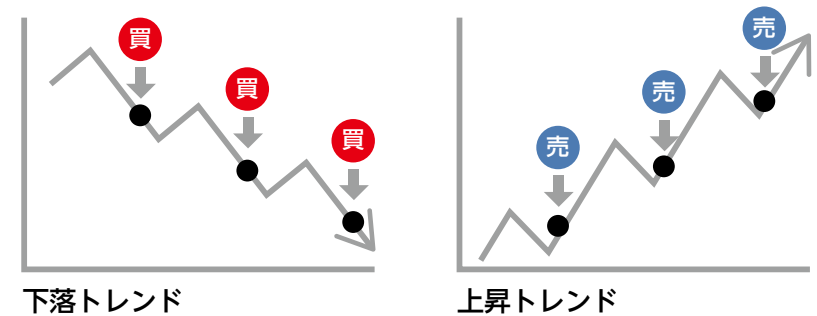
56 | ドテン(途転)

保有している建玉を決済し、反対の建玉を持つこと。今まで買いの建玉を保有していた場合は、決済したあとすぐ売りの建玉を持ち、売りの建玉を保有していた場合は、決済後にすぐ買いの建玉を持ちなおすことを意味します。



57 | ナンピン(難平)

保有している建玉に損失が発生している状態で、新たに建玉を追加すること。平均コストは下がりますが、相場が逆に動いた場合、損失も増えるため、リスクの高い投資法です。



💡 ワンポイント

ナンピンは推奨していません。ナンピンをする場合は資金管理をしっかり行いましょう。

58 | スキャルピング

数銭から数十銭の利幅を狙って、1日の間に何度も取引を行い、利益を積み重ねる手法のこと。建玉を保有してから決済するまで、数秒から数分という極めて短い期間で行われます。

59 | デイトレード

取引を行ったその日のうちに建玉を決済し、翌日に持ち越さない取引手法のこと。寝る前に損益を確定することで、相場変動の影響を気にせず、安心して休むことができます。また、スワップポイントについても考慮する必要がありません。

60 | スイングトレード

数日から数週間程度の為替の値動きを利用して、利益を狙う取引手法のこと。デイトレードよりも大きな利幅が期待できますが、同時に損失が広がる可能性もあるため、しっかりリスク管理を行う必要があります。

61 | ポジショントレード

建玉の取得から決済までの期間が最も長い取引手法のこと。建玉の保有期間は数週間から数か月、長ければ数年かけて、長期的なトレンドの中で大きな利益を狙います。含み損を抱えた場合、心理的なストレスも増えるため、撤退するポイントなど事前にルールを決めておくことが重要です。

62 | キャリートレード

金利の高い通貨を買い、その通貨よりも金利の低い通貨を売って、長期的に保有・運用する投資方法のこと。対円通貨ペアであれば、ニュージーランドドルや、トルコリラ・南アフリカランド・メキシコペソなどの新興国通貨もキャリートレードに人気です。

63 | 裁量トレード

取引を行う際、自らの投資経験や情報分析、相場観をもとに判断を下し、売買を行うこと。ディスクレショナリー取引、裁量取引とも呼ばれています。相場に合わせて柔軟に対応できるメリットがありますが、感情に左右されやすいというデメリットもあります。

64 | システムトレード

あらかじめ設定した売買条件に従って機械的・継続的に行う取引のこと。Meta Trader4(通称MT4)などのプラットフォームを利用した自動売買なら、仕事や睡眠中でもコンピュータに取引を任せられます。人為的な取引ミスや感情に左右されることを避けられるのがメリットです。



ワンポイント

楽天証券では Meta Trader4 の取引もできます。無料のデモ口座もあるので気になる方はぜひデモ口座をお試しください。

65 | ポジション調整

相場に影響がありそうなイベントや経済指標発表前に、保有している建玉を一部決済するなど、リスク回避のために建玉の量を調整すること。週末や連休前、月末などの節目では建玉調整の動きが強まり、一時トレンドが逆行する場合がありますので注意が必要です。

66 | 信託保全

FX業者が、顧客から預かった証拠金を、信託銀行に信託すること。信託保金を導入している会社は、自社の資金と顧客の資産を分別して管理しています。万が一FX業者が倒産した場合も、預け入れた証拠金は戻るため、顧客の資金は守られます。



かんたんに言うと…

資産は信託銀行で管理されているから安心！

第3章

これを知ればニュースが読める!?

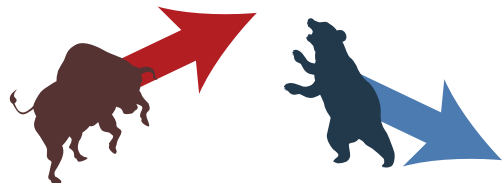
押さえておくべき経済ワード



経済ワードは社会人にとって必須の知識と言えるでしょう。新聞や経済ニュースが読めるようになる、より理解が深まる経済ワードを集めました。

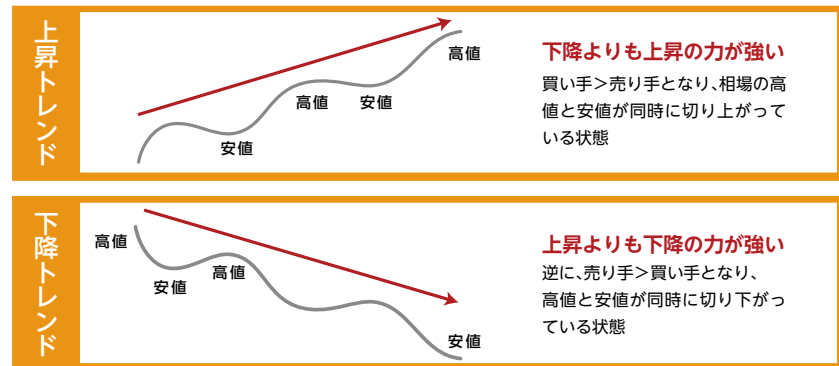
67 | ブル(強気) / ベア(弱気)

相場が上昇基調にある状態を、雄牛が角を下から上へ突き上げる姿に重ねてブル(強気)と呼びます。反対に、相場が下落基調にある状態をベア(弱気)と呼びますが、これは、熊が攻撃する際、立ち上がって上から下に手を振り下ろすことに由来があります。



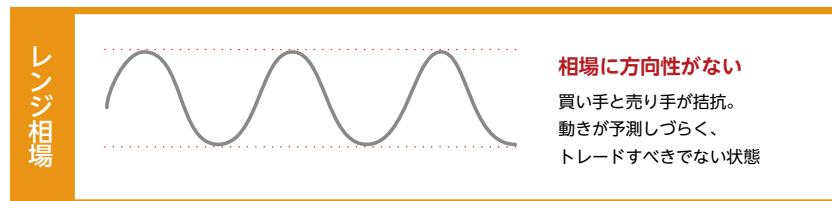
68 | トレンド

相場の方向性・流れを「トレンド」と呼びます。上昇基調の場合は上昇トレンド、下落基調の場合は下降トレンド、という2つの種類があります。



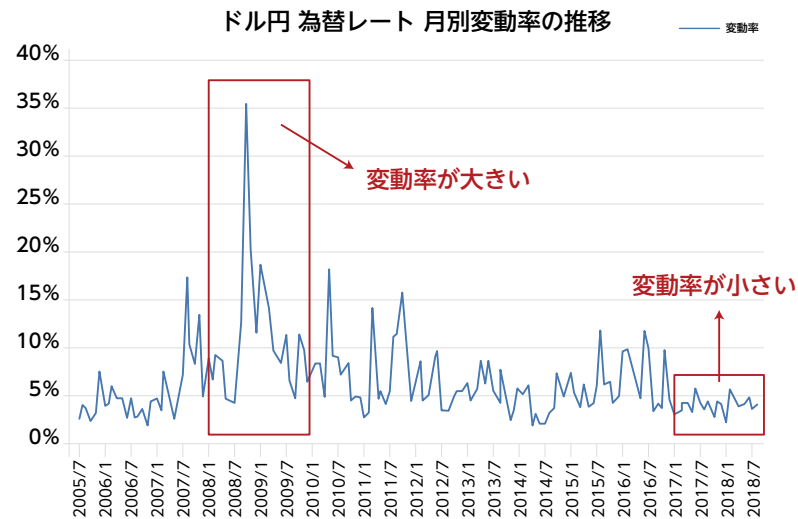
69 | レンジ相場(ボックス相場)

一定の変動幅の範囲内で価格が推移する相場のことをレンジ相場と呼びます。相場を判断するのに材料が不足している時、先行きが不透明な時にレンジ相場となりやすく、決まった範囲内で価格は上下を繰り返します。



70 | ボラティリティ

価格の変動率のこと。値動きが上下に激しく動き、変動率が高い状態を「ボラティリティが高い」と呼び、値動きがゆるやかで、変動率が低い状態を「ボラティリティが低い」と呼びます。



71 | ^{りゅうどうせい}流動性

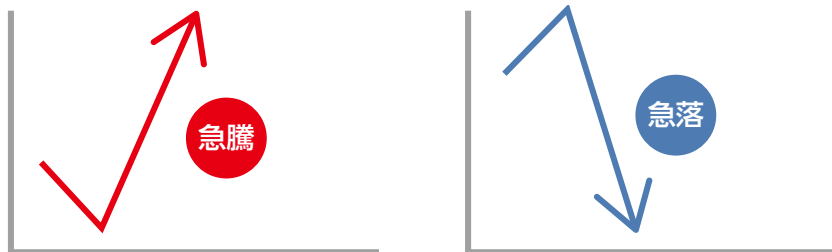
市場での取引量のこと。取引量が少ない=流動性が少ない通貨は値動きが荒くなり、スプレッドが拡大することもあります。

72 | ^{うすあきな}薄商い

市場での取引量が少ない状態のこと。お盆やクリスマス、年末などの時期に見られ、相場はほとんど動かなくなります。逆に何か突発的な事件が起こった際は、取引参加者が少ないため、一方的に相場が変動することもあるので注意が必要です。

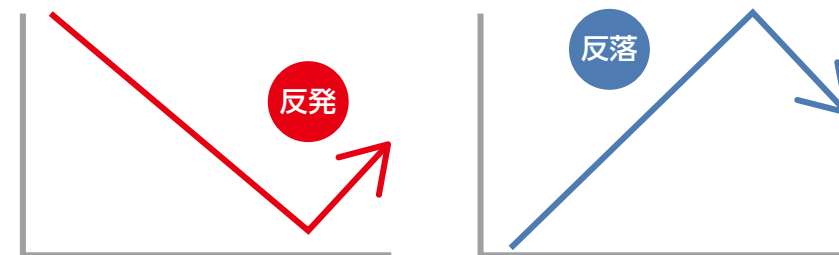
73 | ^{きゅうとう}急騰 / ^{きゅうらく}急落

相場が急速に上昇することを急騰と呼びます。反対に、相場が急速に下落することを急落と呼びます。



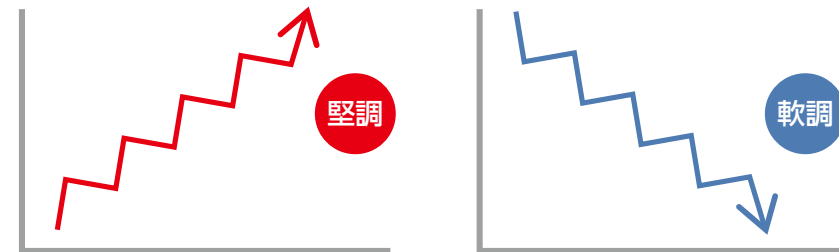
74 | ^{はんぱつ}反発 / ^{はんらく}反落

これまで下落してきた相場が値上がりへ転じることを反発と呼びます。反対にこれまで上昇してきた相場が下落へ転じることを反落と呼びます。



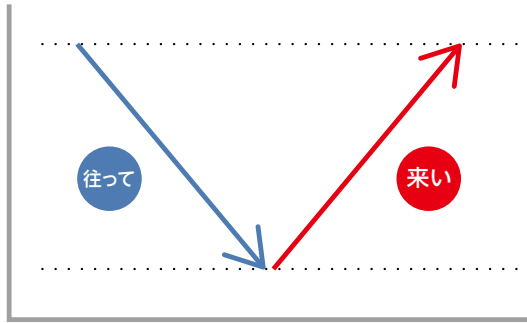
75 | ^{けんちょう}堅調 / ^{なんちょう}軟調

相場が徐々に上昇する傾向にあり、上げ基調が続いている状態を堅調と呼びます。反対に、相場が下落基調にあり、崩れやすい状態を軟調と呼びます。



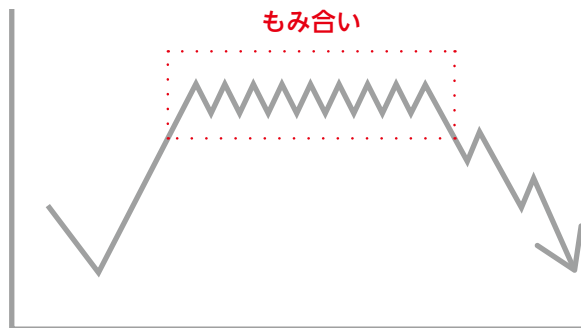
76 | 往いって来こい

相場がある水準まで上がった(下がった)後に、もとの水準まで下がる(上がる)こと。要人発言や突発的なニュースでこの現象が良く起こります。



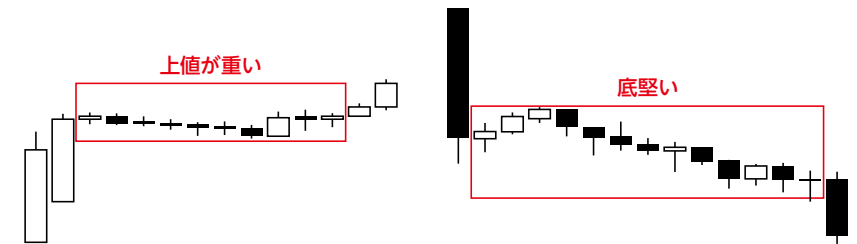
77 | もみ合い

相場が限られた範囲内での動きをくり返し、膠着している状態のこと。方向感が薄く、値動き幅も少ないため、トレードしづらい時期と言えます。



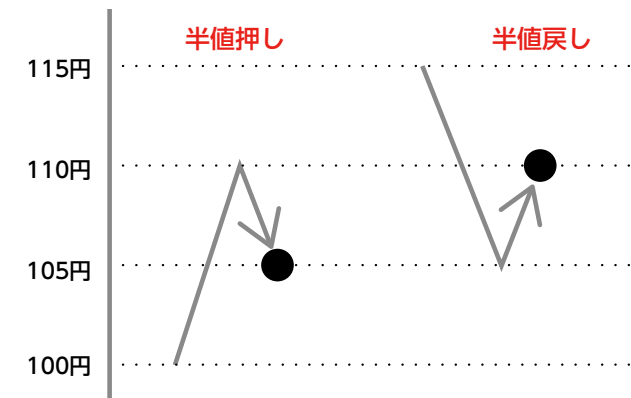
78 | 上うわ値ねが重おもい / 底そこ堅がたい

相場が上がりそうで上がらない状況のことを上値が重いと言います。あるポイントまでは上昇するものの、そこで押し戻される、という動きが続きます。通貨の価格が下落したものの、それ以上は下げ渋り、下がらない状態が続くことを底堅いと言います。相場の底が堅くなると、徐々に上昇基調へとトレンドが転換します。例えばドル円の場合、100円ちょうどや100円50銭などのキリのいい価格の時に発生することが多いです。



79 | 半はん値ね押おし / 半はん値ね戻もどし

相場が上昇した後、上昇幅の半分程度下落することを半値押し、下落した相場が反転し、下落幅の半分程度上昇することを半値戻しと呼びます。半値押しは押し目買いの、半値戻しは戻り売りのポイントとして注目されています。



80 | ^{こうざいりょう}好材料 / ^{あくざいりょう}悪材料

経済指標が予想より良い結果だったり、金利上昇など相場が上昇する要因のことを好材料と呼びます。反対に、相場が下落する要因を悪材料と呼びます。

81 | 材料出尽くし / 材料待ち

相場に影響を与えられた要因(材料)が明らかになり、それが相場に反映され、相場が変動しなくなることを材料出尽くしと呼びます。また、売買の手掛かりがなく、投資家が新しい材料が出てくるのを待っている状態を材料待ちと呼びます。

82 | 織り込み

相場に影響を与えられると思われる経済指標やニュースなどの材料が、事前に価格に反映されていること。相場に好結果を及ぼすと思われる材料が明らかになっても、すでに価格に織り込まれている場合、相場は上がらず、逆に下落することもあります。

83 | ^{いやげ}嫌気

相場に悪影響を及ぼすと思われる材料が出た場合に使われます。「トランプ大統領の発言を嫌気、ドル円が売られた」といったように使われます。反対に、相場に好影響を及ぼすと思われる材料が出た場合は好感という言葉が使われます。

84 | ^{どっほだか}独歩高 / ^{どっほやす}独歩安

ある特定の通貨だけが、他の通貨に対して強い状態を独歩高と言います。反対に、特定の通貨だけが他の通貨に対して弱い状態を独歩安と言います。

85 | ^{いっぶくかん}一服感

相場の値動きがいったん止まった状態を表します。相場が上昇した後に値動きが止まった場合は「上げ一服」、相場が下落した後に値動きが止まった場合を「下げ一服」と呼びます。

86 | ^{てびか}手控え

相場の流れの様子を見るため、市場参加者が売買を見送っている状況を表す言葉です。重要な指標発表や要人発言の前などによく使われます。

87 | リスクオン / リスクオフ

金融市場が安定していて、投資家が高いリターンを狙ってリスクの高い資産に投資する傾向にある状況をリスクオンと呼びます。逆に金融市場が不安定で、リスクを避けて安全性の高い資産が選ばれる傾向にある状況をリスクオフと呼びます。

88 | ^{ちせいがく}地政学リスク

ある特定の地域が抱える政治的・軍事的な緊張の高まりが、周辺の経済、もしくは世界経済全体に影響を与えること。地政学的リスクが高まると、スイスフランや日本円、米ドルなど安全性が高い通貨に資金が集まる傾向があります。

89 | 質への逃避

政変や戦争などで金融市場が混乱し、先行きに対する不安が高まった際、リスクを避けるために信用度・流動性が高い資産へ資金が集まること。信用度が高い日本円、スイスフラン、世界の基軸通貨である米ドルなどが避難先としてあげられます。

90 | ^{ゆうじ}有事のドル買い

戦争やテロなど有事の際に、リスク回避として基軸通貨である米ドルが買われること。ただし、テロの標的が米国だったり、米国で事件が発生した際は、米ドルが売られるケースもあります。

91 | 値ごろ感

過去の水準からみて、売ったり買ったりするのにちょうど良い価格だと思ふこと。ただし、為替相場は一般消費財の価格とは異なり、大きなトレンドが発生すると、思ふもよらぬ下落(あるいは上昇)を見せるため、値ごろ感でのトレードは危険です。

92 | パリティ

等価であることを意味します。例えばユーロドルが1.00(ユーロ1:ドル1)になればパリティです。

93 | ^{そうかんせい}相関性 / ^{ぎやくそうかんせい}逆相関性

二つ以上の通貨ペアが密接に関わり合い、一方に変化があればもう一方もそれに連動して動くことを相関性がある、と呼びます。逆に、一方が変化したとき、それに対して反対の動きをとることを逆相関性がある、と呼びます。

94 | アノマリー

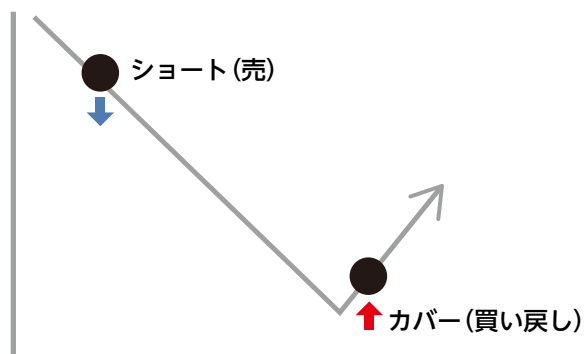
理論的根拠があるわけではないけれど、よく当たるといわれる相場における経験則のこと。代表的なものに、1~5月に向けて株価が上昇し、6月から下げる傾向を表す米国の格言「5月に売り逃げろ(Sell in May)」などがあります。

95 | 買い戻し

売り建玉を決済するために買いを入れること。新規で買う注文と区別するためにこう呼ばれます。

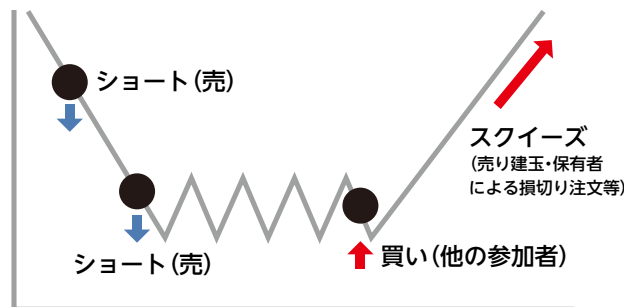
96 | ショートカバー

保有している売り建玉を買い戻す（決済する）こと。ショートカバーが原因で、相場が押し上げられる場合や下落傾向から一転して反発する場合があります。



97 | ショートスクイズ

スクイズ (Squeeze) は「搾る、圧搾する」という意味で、ショートスクイズは、売り建玉を決済させて絞り出すこと。市場の建玉が売りに傾いている時に、他の参加者が大きく買いを仕掛けることで相場の上昇圧力が高まり、その結果売り建玉保有者の損切り注文等が殺到し、相場が更に上昇することになります。



98 | ファンダメンタルズ分析

各国の経済状況や金利の動向など為替に影響をもたらす経済データを用いて相場を予測すること。

99 | テクニカル分析

過去の価格の推移を分析し、将来の値動きを予測すること。分析は移動平均線などのチャートを用いて行います。

100 | ダマシ(騙し)

テクニカル分析において、買い・売りを示すサインが出たにもかかわらず、相場がその反対に動くこと。多くの投資家が注目しているポイントでダマシが起こるケースが多く、ひっかかってしまった場合、傷口が広がる前に早めに損切りするなど対応が必要となります。

索引

《英》 ASストーリーミング注文	17	新興国通貨(エマージング通貨)	6
FX(Foreign Exchange)	1	信託保全	24
IFD(イフダン)注文	20	スイングトレード	23
IFO(アイエフオー)注文	21	スキャルピング	22
OCO(オーシーオー)注文	20	スクエアにする	15
《あ》 相対取引	3	スプレッド	8
アノマリー	34	スリッページ	14
安全通貨	5	スワップポイント	12
往って来い	29	相関性/逆相関性	34
一服感	32	損切り/ストップロス	14
嫌気	31	損切り注文(ストップロス・オーダー)	19
薄商い	27	《た》 建玉(ポジション)	9
上値が重い/底堅い	30	ダマシ(騙し)	36
円安/円高	4	地政学リスク	33
エントリー/クローズ	11	追加証拠金	10
欧州通貨	5	通貨の表示	3
押し目買い	16	通貨ペア	3
オセアニア通貨	5	通貨切り下げ	6
オプションのカットオフタイム	7	ティック	11
織り込み	31	デイトレ	22
《か》 外国為替市場	2	テクニカル分析	36
買い戻し	34	手控え	32
為替レート	4	独歩高/独歩安	32
逆指値注文(ストップ・オーダー)	18	ドテン(途転)	21
キャリートレード	23	ドルバグ制	6
急騰/急落	27	トレール注文	19
堅調/軟調	28	トレンド	25
好材料/悪材料	31	《な》 仲値	7
《さ》 材料出尽くし/材料待ち	31	成行注文、ストーリーミング	17
裁量トレード	23	ナンピン(難平)	22
差金決済	9	ニューヨーククローズ	2
指値注文(リミット・オーダー)	17	値ごろ感	33
資源国通貨	5	《は》 半値押し/半値戻し	30
システムトレード	24	パリティ	34
質への逃避	33	反発/反落	28
ショートカバー	35	ピップス	11
ショートスウィーズ	35	必要証拠金	9
証拠金取引	9	変動相場制/固定相場制	6
順張り/逆張り	15	ファンダメンタルズ分析	36

ブル(強気)/ベア(弱気)	25	《ら》 利食い、テイクプロフィット	14
ポジショントレード	24	利食い注文(テイクプロフィット・オーダー)	18
ポジション調整	6	リスクオン/リスクオフ	32
ボラティリティ	26	流動性	27
《ま》 未実現損益(含み益、含み損)	15	両建て	15
メジャー通貨/マイナー通貨	4	レバレッジ	8
戻り売り	16	レンジ相場(ボックス相場)	5
もみ合い	29	ロールオーバー	13
《や》 約定	11	ロスカット	10
有効証拠金	10	ロング/ショート	10
有事のドル買い	33	ロンドン・フィクシング	7

外国為替証拠金取引(FX)のリスクと費用等について

外国為替証拠金取引(FX)の取引にかかるリスク

外国為替証拠金取引(FX)は、取引通貨の価格変動や、スワップポイントの支払いにより、損失が生じるおそれがあります。また、外国為替証拠金取引(FX)は少額の証拠金で、その差し入れた証拠金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。また、その損失額は差し入れた証拠金を上回るおそれがあります。

外国為替証拠金取引(FX)の取引にかかる費用等

外国為替証拠金取引(FX)の取引手数料は無料です。なお、取引にあたっては各通貨の売付価格と買付価格には差(スプレッド)があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。

証拠金について

[楽天FX口座]

レバレッジコースに応じて取引金額の4%~100%(最大レバレッジ25倍)の証拠金が必要となります。(法人のお客様の場合は、取引金額に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

[楽天MT4口座]

想定元本の4%以上の証拠金が必要となります。(法人のお客様の場合は、想定元本に当社が定める証拠金率(*)を乗じた金額以上の証拠金が必要となります。)

* 当社は、金融先物取引業協会が算出した「為替リスク想定比率」以上となる証拠金率を通貨ペアごとに定めております。「為替リスク想定比率」とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを使い算出されるものです。

商号等: 楽天証券株式会社/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)

第195号、商品先物取引業者

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

2020年1月11日改訂(3版)